

# 登用試験の 抜本的見直しを



## ひろしま

郵政産業労働者ユニオン  
広島支部(広島郵便局内)  
支部メールアドレス  
[piwu\\_hiroshima@yahoo.co.jp](mailto:piwu_hiroshima@yahoo.co.jp)

### 今年も採用数は

### 変わらないか

先月79号でお伝えしたように、日本郵政グループは「期間雇用社員等から正社員への登用に係る一次試験合格者数」を今年も発表しました。

一次審査合格者のほか、月給制契約社員145人、短時間社員31人、時給制契約社員のうち一次審査を免除された4、347人を加えた計8、038人が、現在二次審査(面接試験)を実施されています。

最終可否通知は、2020年1月下旬頃、採用は4月1日となっています。

### 様々な問題のある

### 登用試験

郵政が2007年10月に民営化され、翌年から正社員登用試験がスタートしましたが、合格者はここ数年、3000人から4000人程度で今年の採用予定数も例年通りになっています。



この登用試験、できた時からいろいろ問題がありました。一次審査の可否はWEB試験、勤務成績等を総合して評価するとなっていて、勤務成績には営業の数字が大きく影響すると噂されていますが、実際には合格ラインの数字などもわかりません。

また、WEB試験の点数なども開示することはありません。

正社員登用試験がスタートし、時給制契約社員に正社員への道が開かれた時には、時給制契約社員がいずれは自分も正社員になれると思ったはずですが、実際はいつ正社員になれるかわからず、登用試験のたびにモチベーションが下がるとい人も多くいます。これまで郵政での正社員をあきらめ、退職の道を選ぶ人が多くなりました。

### 希望者全員の

### 正社員化を

「非正規約5000人を正社員に、新規トラック運転手も最初から正社員採用」これは昨年の春闘で、ヤマト運輸が労使で合意し発表したものです。

具体的には「フルタイム勤務の有期労働契約の社員(契約社員)約5千人について、本人が希望すれば正社員を選択でき

る人事制度を導入。フルタイムのセールズドライバー（トラック運転手）として新たに入社する全員を正社員として採用する」となっています。

人手不足が深刻な物流業界では、人材の確保と定着が重要な課題になっていることから「労働時間の問題が起これないよう、徹底的に人を入れる」とヤマト運輸は答えています。

9月からはじまった大取集を見てもわかるように、いま郵便関係の職場では新規の期間雇用社員が集まらないなど要員不足が深刻で、一人でも退職されたら困る状況は全国同じです。広島局でも毎年数名が合格されていますが、正社員登用試験の採用人数を大幅に増やすか、思い切って希望者全員の正社員化を実現するなど、もうそろそろ正社員登用試験の見直しを検討すべき時期に来ていると痛切に感じます。

# 郵政産業ユニオン中国 2020地本旗開き

日時 1月12日（日）13時～

場所 ぶあいそ博多 広島駅南口店

（広島市南区猿猴橋町2-3）

